

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 河津町 (都道府県: 静岡県)
 本事業の担当部局名 企画調整課

事業メニュー		地域結婚支援重点推進事業			
区分		重点メニュー			
関連事業メニュー		1.2.1 自治体間連携を伴う結婚支援の取組			
個別事業名		令和6年度 地域活性化事業(バラ色婚活in河津町)	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日	事業開始年度	平成 30 年度	
対象経費支出予定額 ※(注)1		500,000			円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2		(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通 河津町においては、人口が減少傾向であり、2040年には5,235人となる推計である。これを受け、まちひとしごと創生総合戦略では、4つの基本目標のうちの一つに「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ことを設定し、出生数の増加を目標に掲げている。 しかし、婚姻数などの増加の傾向は数値には見られないため、引き続き出会いや交流のきっかけとなる事業(婚活イベント)を実施すると共に、イベント参加者増に向けた情報発信に力を入れていく。			
		(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) ＜当年度の少子化対策の全体像＞ ※全事業共通 まちひとしごと創生総合戦略では、4つの基本目標のうちの一つに「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ことを設定し、出生数の増加を目標に掲げているため、当年度もまずは出会いや交流のきっかけとなる事業(婚活イベント)を実施する。イベント後に参加者にアンケート調査を行い、次年度以降により効果的な取組となるよう留意する。 ＜本個別事業の位置付け＞ 地域活性化事業(婚活イベント)については、基本目標のうち総合的な結婚支援の主な事業として位置付けており、出会いや交流のきっかけとなるイベントを開催している。KPIを婚活イベント参加者による婚姻数としており、目標4組のところ現在2組が婚姻に結びついている。			
		(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) 参加者については男女共に定員に達せず苦慮している。 参加者からのアンケートを基に、毎年イベント内容(魅力向上)や募集告知方法の見直し(SNS等の活用)を行っている。			
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	婚活イベント	○出会いや交流のきっかけとなる婚活イベントの実施。(参加予定人数:50人) ・令和5年度に実施予定の「アウトドア婚活」のアンケート等の結果を考慮して、より集客のできるイベント内容とする。(スポーツ婚活等) ○イベント開始前に、参加者への心構えセミナーを開催。 ・婚活イベント者への基本的心構えやマナー講座などを予定。 ○自治体間連携として、イベント内でふじのくに出会いサポートセンターを紹介し、登録相談会を実施することで婚活の活動範囲を広げることを促す。 ・併せてヒアリングを実施し、実情・課題を両者で共有し、今後の取組に活かしていく。	○	○
【次年度以降に向けた事業の方向性】 参加者からのアンケートを基に、イベントとセミナーの内容変更や募集告知方法の見直し(SNS等の活用)を行う。					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 ふじのくに出会いサポートセンター婚活イベント					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
		参加者による婚姻数		組	4 (R7)
	出生数		人	180 (R7)	160 (H27～31)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.67 (H25～H29) 厚生労働省：R2公表値	
	婚姻件数		件	17 (R3静岡県人口動態統計：R5公表値)	
	婚姻率			2.5 (R3静岡県人口動態統計：R5公表値)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	参加者	人	50	20 (H30～R4)
	2	募集定員数に対する参加者数の割合	%	100	40 (H30～R4)
	3	カップル成立数	人	4	2 (H30～R4)
		(アウトカム)			
	1	ふじのくに出会いサポートセンター登録者	%	20	0 (R4)
	2	参加者による婚姻数	人	4	2 (H30～R4)
	3	イベント参加により、婚活に対し前向きになった人の割合(満足度)	人	100	—
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	<p>県はふじのくに結婚応援協議会(ふじのくに出会いサポートセンター)の運営、市町は地域特性に応じた結婚支援の実施という役割分担をしている。また、協議会会則において会員(県・市町)の責務を以下のとおり定めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム利用登録者の拡大を図ること ・会員間において相互に連携を図ること <p>【自治体間連携により実施する事業】</p> <p>静岡県：ふじのくに結婚応援協議会連携強化事業 静岡県：出会いの機会創出事業 富士宮市：富士宮市出会い・交流応援事業 伊豆市：伊豆市婚活支援事業 河津町：令和6年度 地域活性化事業(バラ色婚活in河津町)</p> <p>【自治体間連携により効果的・効率的になる内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくに結婚応援協議会が運営する「ふじのくに出会いサポートセンター」では、会員獲得が課題であるため、結婚を希望する当事者に直接アプローチできる広報が求められている。 一方で、市町が実施主体となる結婚支援事業においては、単独市町のみでは結婚希望者が限られ、当該事業の周知方法に課題があるが、センター会員以外の結婚希望者の参加が見込まれる。 ・以上から、市町の結婚支援事業では、参加者に向けたセンターの出張登録相談会を実施し、ふじのくに結婚応援協議会では、センター会員に対して、市町の結婚支援事業の利用を促進することにより、それぞれの課題を解消することができ、本県全体で効果的かつ効率的に結婚支援に取り組むことができると考えている。 				
	民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	委託事業として実施し、イベントの企画運営について、民間事業者と共同して実施する。			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。